

兵庫県のハムシダマシ

(兵庫県甲虫相資料・123)

高橋 寿郎

日本産のハムシダマシ科(Lagriidae)に属する甲虫は概数18種(中根, 1972)が知られている。一般に花上, 葉上に多く見られ, 落葉下, 砂地のごみの下などにも棲んでいるがその生活史に就いての詳しい報告はないようである。日本産の種に就いての総括的な研究も見受けられないが中根博士は日本産14種を原色図説しておられる(1963)。幼虫の図説は林博士が5種に就いて詳しく調べておられる(1964, 1968)。

兵庫県産のこの類をまとめた報告は残念ながら今迄無かった。たゞ県産のこの類は9種の分布が知られているが特に珍しいものは見られなく, その意味では余り興味の湧かないグループかも知れない。始めに記した様に生活史等が全くわかっていないものが多いのでその方面の調査をやる必要があると考えられる。一応現時点での県下のこの仲間をまとめて見ることにした。

また中条道崇氏はスジコガシラゴミムシダマシ(*Heterotarsus carinula*)を詳しく調べられてこの種はハムシダマシ科のものではなく独立の科コガシラゴミムシダマシ科(*Heterotarsus*)とすべきであるとの見解を発表しておられる(Jour. Agr. Kyushu Univ. 14, I:30, 1966)(中条氏はその論文で従来 of *Heterotarsus crenulifer* Kasabもこの科に移すべきと論じておられるのでコガシラゴミムシダマシ科の日本産は2種と云うことになる)。

本報文では一応ハムシダマシ科にふくませて取扱っておいたが別科として取扱った方が良いのかもしれない。

Family Lagriidae ハムシダマシ科

1. *Luprops cribrifrons* (Marseul, 1876) アラメヒゲブトゴミムシダマシ
Marseulにより *Lyprops* 属で "Kiu-Sin et Nippon," を産地に記載された種である(Ann. Soc. Ent. Fr. V, 6:124-126, 1876)。

Lewisは "Nagasaki. Not found in North Japan nor is it very abundant in the south," と記録された(Ann. Mag. Nat. Hist. 6, Xiii: 474, 1949)。中根博士は *Lyprops* 属で図説された(新昆虫, 2巻, 6号, P. 259, 1949)。さらに *Luprops* 属で原色図説をされた(1963)。分布は本州, 四国, 九州。

成虫、幼虫ともに落葉下や枯れ木の下などに見られる。冬季オサムシ堀などで得られる。県下では普通に得られる種である。山地帯での記録が余り無いが之は調査不充分的結果と思う。

産地：洲本市先山(2exs., 9-III-1978)*。川西市笹部(1ex., 9-IV-1978)〔仲田, 1979, 1982〕。神戸市保久良山(1ex., 30-XII-1975), 烏原(1ex., 25-VII-1971, 1ex., 23-VII-1972, 1ex., 14-VI-1980), 山の街(1ex., 30-III-1975, 1ex., 20-III-1977, 1ex., 17-I-1976), 藍那(1ex., 14-XII-1975), 白川(1ex., 23-XI-1956), 妙法寺(1ex., 11-XI-1978)。飾磨郡家島(1ex., 26-V-1978)〔上田, 1981〕。佐用郡大撫山(1ex., 15-III-1975, 1ex., 6-XII-1975)。城崎郡城崎町(6exs., 25-X-1978)。

2. *Luprops sinensis* (Marseul, 1876) ヒゲブトゴミムシダマシ

本種もMarseulにより*Lyprops*属で“*Kiu-Siu et Nippon*”を産地に記載された(I. C., P. 125-126, 1876)。

Lewisも“This species is extremely abundant both in China and Japan. It is most abundant in the dead stems of *Batatas edulis*, which is often hung up in trees in masses to dry in both countries. Hab. Kiushiu and main island.”と大麥多くいることを記録している(I. C., P. 474, 1894)。

中根博士の図説(1949), 湯浅, 河野博士の図説(1950)があり中根博士は*Luprops*属の種として原色で図説された(1963)。

本種の生活史については笹本, 村松両氏の貴重な報告がある(新昆虫, 9巻, 1号, P. 20-23, 1956)。

分布は北海道, 本州, 四国, 九州, 台湾, 支那である。

普通種である。成虫・幼虫ともに石や落葉の下等に多く, また松等の枯枝やそだに集集する。また成虫は燈火にも飛来する。成虫は4月頃枯れ木に産卵, 成・幼虫ともに枯れ木の上を匍匐し, 樹皮を食べる。幼虫期間は約2ヶ月, 樹皮下や表面で蛹化する。幼虫は6令まで。幼虫の図説は福田氏(日本幼虫図鑑, P. 482, f. 905, 1959), 並びに林博士のもの(Ins. Mats., 27巻, 1号, P. 28-30, 1964)がある。

産地：津名郡常隆寺山〔宮武, 1973〕。洲本市三熊山〔宮武, 1973〕, 安乎町〔堀田, 1978〕。洲本市鮎屋, 諭鶴羽山〔宮武, 1973, 1974〕。川辺郡猪名川町槻並(1ex., 2-

*産地の所で〔 〕の中のものは記録からの引用, ()は筆者採集標本所有のもの。

Ⅷ-1978)。川西市大和，笹部〔仲田，1978，1982〕。神戸市一毛山(1ex., 22-IV-1978)，丹生山(1ex., 5-V-1956)，道場(1ex., 13-IV-1974)，烏原(1ex., 20-VII-1978)，藍那(1ex., 27-VI-1978)，妙法寺(1ex., 23-V-1979)。明石「明石公園(1ex., 29-VI-1975)。加西市畑(6exs., 17-VI-1974, 1ex., 23-VI-1974, 3exs., 29-IV-1974, 2exs., 21-V-1973)，烏羽(1ex., 5-VII-1975)。相生市三濃山(1ex., 7-V-1972)。佐用郡大撫山(2exs., 25-IV-1976)。宍粟郡音水(2exs., 25-V-1976)。水上郡〔山本，1958〕。出石郡出石町新宮〔高橋，1963〕。養父郡氷の山(7exs., 25-VII-1959)。美方郡扇の山〔辻，1963.，辻，岸田，1972，高橋，1976〕。

3. *Heterotarsus carinula* Marseul, 1876 スジコガシラゴミムシダマシ

Marseulによって "Kiu-Siu et Nippon(Osaka)", 産で記載された種である。中根博士の図説があり(1949, 1963)。始めに記したように中条氏の詳しい検討もある(1966)。

成虫は河原，海岸などの砂地のごみの下などにすみ，幼虫も同じ場所にいて腐植物を食べる。幼虫の図説は林博士のものがある(1968)。県下に広く分布していると考えられる。

産地：川西市大和，笹部，東畦野一の鳥居〔仲田，1978，1982〕。宝塚市(2ex., 23-VII-1954)。神戸市烏原(1ex., 26-VII-1956, 11exs., 2-V-1954, 1ex., 4-VII-1971, 1ex., 18-VII-1974, 1ex., 1-IX-1974, 1ex., 27-VII-1975, 1ex., 12-VI-1976, 1ex., 17-VII-1976, 1ex., 11-VI-1981, 1ex., 25-VI-1981)，藍那(3exs., 10-VI-1978, 1ex., 27-VI-1978)。飾磨郡雪度山(1ex., 5-XII-1976)。神崎郡大河内町川上(1ex., 6-VIII-1977)。宍粟郡波賀町水谷(1ex., 17-VII-1981)。水上郡〔山本，1958〕。出石郡出石町奥山〔高橋，1963〕。城崎郡日高町鶴岡〔高橋，1975〕。

4. *Lagria verveax* Marseul, 1876 ハムシダマシ

Marseulによって "Kiu-Siu, Nippon", を産地に記載された種である(1876)。中根博士の図説がある(1963)。

従来 *L. nigricollis* Hope なる学名を使われていた(湯浅，河野，1950)。林博士の幼虫の解説がある(1964)。

分布は日本全域，樺太，朝鮮，支那，東シベリアと広い。

兵庫県下でも普通種である。成虫は花や葉上に多く見られる。幼虫は朽ち木や落葉の下などにすみ腐植物を食べる。5月ごろ蛹化する。

産地：三原郡諭鶴羽山〔宮武，1974，堀田，1978〕。川辺郡猪名川町槻並（3exs., 2-VI-1978），杉生新田〔仲田，1982〕。川西市大和，笹部〔仲田，1978，1982〕，一の鳥居（4exs., 22-VI-1952）。神戸市御影〔関，1933〕，二十渉（1ex., 26-VI-1955），五社（1ex., 28-VI-1955），鳥原（1ex., 13-VI-1971，2exs., 2-VI-1972，1ex., 18-VI-1972，1ex., 12-VI-1980，4exs., 13-VI-1980），藍那（1ex., 27-VI-1978），押部谷町木見（1ex., 23-VI-1980）。加西市畑（1ex., 23-VI-1974，4exs., 29-VI-1974）。多可郡鳥羽（4exs., 19-VI-1975）。神崎郡大河内町川上（3exs., 15-VI-1977，1ex., 23-VI-1977）。飾磨郡家島〔上田，1981〕。相生市三濃山（2exs., 6-VI-1973，1ex., 1-VI-1974，1ex., 16-VI-1974）。宍粟郡音水（2exs., 30-VI-1972，3exs., 15-VI-1973）。水上郡〔山本，1958〕。豊岡市〔高橋，1975〕。養父郡氷の山（2exs., 2-VI-1953，1ex., 25-VI-1955，3exs., 27-VI-1957，5exs., 21-VI-1958，2exs., 25-VI-1959），鉢伏山〔高橋，1975〕。美方郡扇ノ山〔辻，1963.，辻，岸田，1972，高橋，1975〕。

5. *Arthromacra decora* (Marseul, 1876) アカガネハムシダマシ

Marseulによって *Lagria* 属で "Hiogo, 産で記載された種である (I. C., PP. 339-340, 1876)。

Lewisは *Arthromacra* 属で "Kobe, near the base of Maiyasan. Apparently very local. I took one specimen in 1871 and on returning to the place on the 11th June, 1881, I found seven others," と記録された (Ann. Mag. Nat. Hist. 6(XV):278, 1895)。

中根博士の図説がある (1963)。分布は本州だけが知られている。

本種も普通種である。成虫は山地の花に見られる。幼虫は朽ち木を食べて成育する。

産地：川辺郡猪名川町木間生，槻並〔仲田，1978，1982〕。川西市大和，笹部〔仲田，1978，1982〕。Hiogo〔Marseul, 1876〕。Kobe, Maiyasan〔Lewis, 1895〕。神戸市山の街（1ex., 29-IV-1959，1ex., 10-V-1959），丹生山（1ex., 5-V-1956，2exs., 29-IV-1958，3exs., 25-V-1958），帝釈山（2exs., 30-IV-1973），藍那（4exs., 29-V-1978，1ex., 20-V-1979）。多可郡日山（5exs., 3-V-1973，2exs., 27-V-1973）。神崎郡大河内町川上（2exs., 7-V-1971，2exs., 21-V-1977，3exs., 4-VI-1977，1ex., 18-VI-1977）。相生市三濃山（1ex., 28-IV-1974，1ex., 18-V-1974）。宍粟郡音水（1ex., 20-VI-1959，1ex., 31-V-1970，2exs., 25-V-1972，2exs., 11-VI-1972，1ex., 13-V-

1973, 1ex., 3-VI-1973, 1ex., 24-V-1972), 赤西(2exs., 21-V-1979, 2exs., 27-V-1979). 養父郡坂の谷(26exs., 9-VI-1973), 氷ノ山〔高橋, 1975〕. 美方郡扇ノ山〔辻, 1963., 辻, 岸田, 1972〕.

6. *Arthromacra sumptuosa* Lewis, 1895 アカハムシダマシ

Lewisにより "Chiuzenji. Apparently scarce and local. Six examples,, を産地に記載された種である(I. C., P. 277, 1895).

中根博士の図説がある(1963). 分布は本州である.

成虫は山地の花に集り幼虫は日陰の朽ち木の中にトンネルをあけて食べ進む. 5~6月に朽ち木の中で蛹化する.

県下では個体数がそう多いように思われない.

産地: 相生市三濃山(3exs., 6-V-1973, 2exs., 20-V-1973, 1ex., 1-VI-1974). 養父郡杉ヶ沢〔高橋, 1975〕.

7. *Arthromacra viridissima* Lewis, 1895 アオハムシダマシ

Lewisにより "Miyanoshita, Oyama, Tokio, Nikko and Hitoyoshi. This pretty species is common in certain places in May, occurring in the flowers of *Deutzia* and *Cerasus*., として記載された種である(I. C., P. 277, 1895).

湯浅, 河野博士(1950), 中根博士(1963)の図説があり, 幼虫は福田氏(1959), 林博士(1964)の図説がある. 本州, 四国, 九州に分布.

成虫は山地の花に集り蜜をなめる. 幼虫は日陰の地面にころがる朽ち木や枯れ枝の中にトンネルをあけて食べ進む, 5~6月にこれらの中で蛹化する. 本種もそれ程多い種とは思われない.

産地: 神戸市六甲山(3exs., 8-V-1955), 山の街(2exs., 17-V-1953, 1ex., 16-V-1954, 1ex., 29-IV-1959, 5exs., 10-V-1959), 丹生山(1ex., 5-V-1956), 谷上(6ex., 29-IV-1958). 宍粟郡音水(1ex., 20-VII-1958, 1ex., 21-V-1952, 1ex., 11-VI-1972), 赤西(2exs., 27-V-1979). 氷上郡柏原(1ex., 10-V-1953)〔山本, 1958〕. 豊岡市愛宕山〔高橋, 1975〕. 養父郡氷の山〔高橋, 1975〕. 美方郡扇ノ山〔辻, 1963., 辻, 岸田, 1972, 高橋, 1975〕.

8. *Macrologria hirsuta* (Lewis) ツヤナガハムシダマシ

従来 *Nemostria* 属の種として扱われていた(湯浅, 河野, 1950., 中根, 1963).

1978年の大図鑑追補，正誤表で*Macrologria*属の取扱をされている。分布は本州だけである。

筆者は県下で未採集でよくわからない。

産地：氷上郡〔山本，1958〕。養父郡氷の山〔高橋，1975〕。美方郡扇の山〔高橋，1975〕。

9. *Macrologria rufobrunnea* (Marseul, 1876) ナガハムシダマシ

Marseulによって*Statyra*属で"*Kiu-Siu*(*Omuza*)"を産地に記載された種である(I. C., P. 340, 1876)。本種も同じく*Nemostria*属の種と扱われていた。中根博士の図説(1963)。黒佐(1959)，林(1964)両博士の幼虫図説がある。1978年の大図鑑追補，正誤表で*Macrologria*属の種として扱われた。分布は本州，四国，九州。

成虫は葉上にいる。幼虫は朽ち木の中にトンネルをあけて食べ進み，朽ち木の中で蛹化する。普通種である。

産地：川辺郡猪名川町木間生，槻並中〔仲田，1978，1982〕。川西市笹部，大和〔仲田，1970，1978，1982〕。神戸市山の街(1ex., 5-V-1955, 1ex., 30-IV-1978)，谷上(1ex., 3-V-1957)，丹生山(1ex., 15-V-1955, 3exs., 18-V-1958)，帝釈山(1ex., 30-IV-1973)，山の街(1ex., 30-IV-1978)，藍那(1ex., 22-V-1978)，妙法寺(1ex., 25-III-1979, 3exs., 23-V-1979)。多可郡白山(1ex., 3-V-1973)。相生市三濃山(2exs., 3-V-1969, 3exs., 7-V-1972, 3exs., 6-V-1973, 1ex., 28-IV-1974, 3exs., 12-V-1974, 5exs., 18-V-1974)。佐用郡大撫山(1ex., 2-V-1978)。宍粟郡音水(1ex., 31-V-1970, 1ex., 3-VI-1975, M. Yuma leg.)。養父郡坂の谷(1ex., 31-V-1970)，氷の山〔高橋，1975〕。美方郡扇ノ山〔辻，1963.，辻，岸田，1972，高橋，1975〕。

以上兵庫県産ハムシダマシ科9種の分布を中心に県下のものを紹介した。始めに記した様に県下にはこの他にもまだ産する種がいる可能性は充分あるし個々の種に就いてもまだ分布の不充分の点もあり，まして生態方面では全くの手づかずと云うのが現状のようなのでこの方面での調査研究の必要性を痛感している次第である。

(Feb. 1983)